

平成30年1月25・2月2・10日実施

「パパのためのコミュニケーションカアップ講座」の様子

【第1回】できるようになる！説明カアップのコツ

講師：福地 朋子さん

(一般社団法人教育コミュニケーション協会 説明カメディエーター)



【講座の目的】

わかりやすく伝えるためのルールを知ること。

説明カは、センスではなく科学なので、ルールに則れば、誰でもわかりやすく説明できます！

【なぜわかりづらいのか？】

★話の前提を言わないから

何について話すのか、伝えていない。

「〇〇の件についてですが…今、〇分くらいお時間よろしいでしょうか。」

「〇〇のことなんだけど…今話してもいい？」

などと言って、相手の合意を得てから話を始めましょう。

★相手がわからない言葉や表現を使うから

相手が「？」という顔をしたら、違う言葉で言い換えたり、意味を説明したりしましょう。

【わかりやすい説明のするための準備】

★準備8割！！

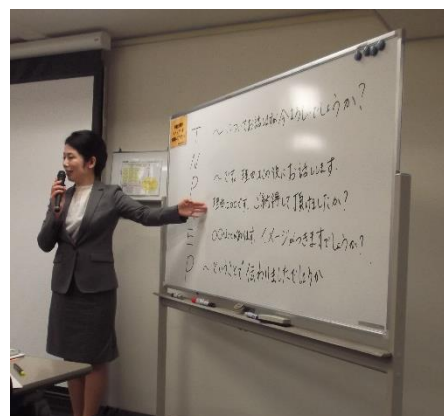
誰に伝えるか？（年齢・経験・相手の状態も含めて）

何を伝えるか？（結論＝最後の一文を事前に整理しておく必要あり）

【わかりやすく伝えるためには】

例えば…

- ・「これからお話するのは、〇〇についてです」
- ・（言いたいことが複数ある場合は「お伝えしたいことは〇個あります」）
- ・「私は〇〇だと思います」
- ・「なぜかというと、〇〇だからです」
- ・「例えば、〇〇な例があります」
- ・「ということで、私は〇〇だと思います」



わかりやすく伝えるためのルールについてのお話があった後、いくつかのテーマについて、準備→説明するという練習を行って、講座は終了となりました。



【最後に】

大切なのは、相手を思いやること。だと思います。
相手に伝わっていないのは、自分の責任だと思って、いろいろと工夫してみましよう♪

♡アンケートより♡

- ・説明の仕方を良い例・悪い例で伝えていただき分かりやすかったです。
- ・ワークをしながらだったので習得しやすかった。
- ・興味深い、役に立つキーワードがいくつもあった。
- ・とても分かりやすく、これからの家族とのコミュニケーションや仕事にも十分活用できる内容だったと思います。
- ・参加者同士のワークがおもしろかった。自分の話を整理し説明しているうちに、改めて妻・娘のよさに気づいた。
- ・大変勉強になりました。相手の状況、状態をしっかりとらえ、分かりやすい言葉と例を使って、これからの生活に役立てたい。
- ・大変分かりやすい内容で、仕事終わりなのに、集中して講義を聞くことができた。
- ・「発信者責任」という言葉は非常に印象強く残った。
- ・これからですが、「身に付けられるもの」という認識が持てたことは大きな気づきでした。

